

高小コミスクだより

No.22 H29.3.13
かほく市立高松小学校
校長 喜多由紀
CN 楠 千恵

楽しかった「哲学カフェ」！



3月9日（木）に、西田幾多郎記念哲学館の中嶋さん、井上さん、山名田さんをお迎えし、5年生で「大人」をテーマに哲学カフェ（考えて話し合う）を行いました。

5年2組は、「大人にしかできないことってある？」「子どもにしかできないことってある？」5年1組は、「今すぐ、大人になれるなら、大人になりたい？」「こどもにしかできないことってある？」を対話のテーマに選び、それぞれ2つのグループに分かれて、円になって活動しました。



「考えることが大切なので、言いたくなかったら言わなくてもよいし、言いたくないというのも意見ですから」という言葉に安心できたのか、子どもたちは真剣に考え、取り組んでいました。車の運転やお金のこと、自由さなど、子どもならではの素直な考えがたくさん出て、それらを真剣に受け止めながら、よく考えていた子どもたちが印象的でした。

人の話をしっかり聞いていろいろな考えを受け入れ、自分の考えを理由をつけて話すことができる力は、学力やコミュニケーション力を身に付ける上でも大切だと思われます。

子どもたちは、「楽しかった！」「いろいろな考えがあるんだと思った」など生き生きとした表情で感想を話していました。

3年生の「高松カルタ」が展示中

3月9日から20日（午前中）まで、たかまつまちかど交流館で、3年生の高松カルタが、展示されています。

総合的な学習の時間に、ぶどうの見学をしたこと、道徳で柿の話の聞いたり柿の収穫体験をしたりしたこと、地域の方に高松の昔のことを教わったことなどを通し、一人一人が高松のことを絵や文で表したカルタを作りました。全員の作品が展示されています。どうぞお時間のある方は、ご覧ください。

